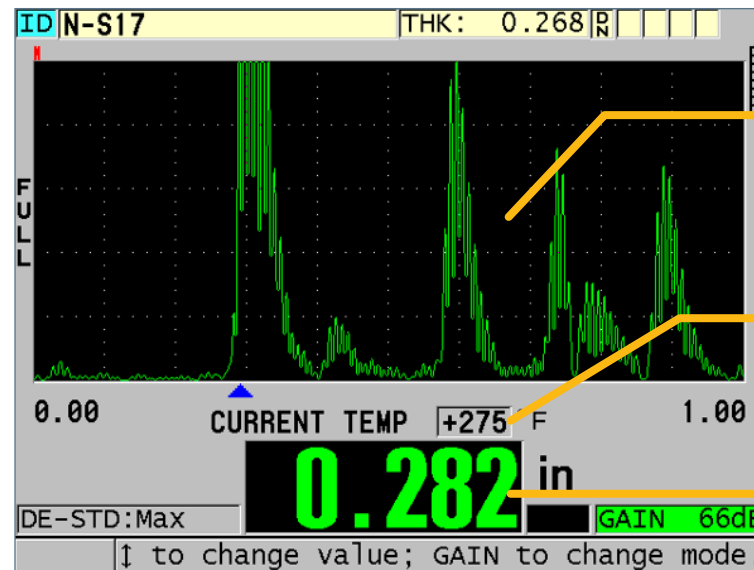
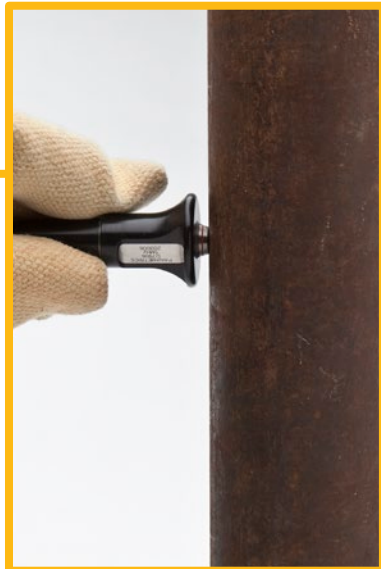


設備稼動中の厚さ測定によりダウンタイムと費用を削減

温度補正機能付き超音波厚さ計38DL PLUS

炭素鋼は高温になると音速が低下するため、厚さ測定が不正確になります。温度補正機能付き38DL PLUS厚さ計ではこの問題が解消するため、費用のかかる設備のシャットダウンを行わずに定期検査を実施できます。



エコー振幅に関係なく正確な厚さ測定アルゴリズムを用いたライブA-スキャン

現在の温度を入力

温度補正された測定値

機能

ASME規格E 797-95によると、炭素鋼の音速は、55 °Cまたは100 °Fごとに約1%ずつ低下する

- 38DL PLUS厚さ計を室温に対して校正し、検査対象材料の上昇温度を入力する
- 厚さ計は音速の変化に応じて自動的に補正され、温度補正済みの厚さ値が表示される

使用目的

高温の炭素鋼をそのまま測定することによりダウンタイムと費用を削減する

冷却のためにシャットダウンせずに供用中のパイプやタンクの腐食と浸食を検査する

高温の基準試験片に対する校正や手動による温度補正值の計算の必要性をなくす

推奨探触子

オリンパス厚さ計の腐食検査用二振動子型探触子

Microscan 遅延材付き探触子 (精密厚さ測定用の高温遅延材付き)